

連絡網にて会員各位（各グループ企業）へ配付、FAX方お願いいたします。

発信番号：DNSC - 290

発信日：2003年5月12日

原稿枚数：1

会員各位

（総経理・所長、駐在員の皆様）

ご家族の方にもお知らせ下さい

発信：大連日本商工クラブ
事務局長 加藤 康二

SARS に関する注意事項

前回の注意事項に合わせて以下の情報を追加・変更いたします。

SARS とは？

症状としては38 以上の急な発熱、咳・息切れ・呼吸困難感などの呼吸器症状があげられます。

大連でSARS感染者（もしくは疑い例）が発見された

上記の事実は当地でのSARS対策が新たな段階に入らなければならない状況を示していると考えます。今までは今後の大連での感染者の動向を注意深く見守っていかなければならない状況としていましたが、今後は感染者数の増加を見ながら当地に滞在する必要性の低い者から帰国を考慮に入れていくべき状況となったと考えます。これはあくまでも今後の感染者数の増加ペースによります。

その他の地域の増加ペースが参考に

天津・河北・内モンゴルなどの地域は初めての患者が発生してから急激に患者の増加が認められています。また反対に瀋陽やその他の都市のように散発的に発生している地域もあります。感染地域と人的交流の大きな地域ほど被害が大きくなる傾向にありますが、大連の場合は北京・広州・香港などの感染流行地域との関係を考えるに急激に増加している地域よりは関係は薄いとは言えるものの散発的に発生している地域よりは人的・経済的結びつきは強いと言えるためどのように推移していくか予想がたいと考えます。よって、今後の患者数の動向を注意深く見守り、万が一急激な増加を認めるならば当相談室としては帰国も考慮に入れるべきと考えます。

感染対策

- （1）手洗い・うがいの励行など通常の感染予防策を行って下さい。
- （2）状況が沈静化してくるまでは不要・不急の外出は避けるべきでしょう。
- （3）38度以上の急な発熱、咳、息切れ、呼吸困難等の症状が出現した場合、または出張先などでSARSが疑われる患者と接触した場合にはすぐに大連中心医院発熱外来を受診して下さい。その際は鼻と口をマスクで覆って訪れて下さい。
なお、外国人のSARS対策センターは大連中心医院に変更となりましたので上記症状のある方はすべて大連中心医院発熱外来を受診することになります。
- （4）なお、発熱外来受診の際に担当医師より感染したと判断された場合、もしくは感染が疑われた場合はそのまま強制的に隔離入院となることを改めてご確認ください。
- （5）上記に記したように今後の動向を占う上でこれからの1～2週間は非常に注意が必要な時期であると考えます。

大連中心医院日本人医療相談室